

神戸市長 久元 喜造 様

新型コロナウイルス感染症に関する要望

〈 第4弾 〉

令和3年1月18日

日本維新の会 神戸市会議員団



新型コロナウイルス感染症の猛威に対して、国より1都2府8県に緊急事態宣言が再発令された。本市においても医療提供体制が逼迫しており、県と連携して迅速かつ適切に対応していく事が市民から求められている。本市においても、この国難を乗り切る体制を継続強化して頂きたい。日々刻々と変わる状況に対して柔軟に対応して頂くと共に、市内の経済・市民の生命・社会活動を守る観点より以下の要望をする。

記

1. 新型インフルエンザ等対策特別措置法第31条に基づく医療実施要請を医療機関に対して行うよう兵庫県へ要望すること。また要請に応じる医療機関に対する支援を拡充すること。
2. 新型コロナウイルス感染者に対し、円滑な入院調整、宿泊療養調整を行うこと。
3. 市民生活や神戸経済を守るために、支援策の新たな構築や延長も含め検討を重ねること。
4. 神戸市成人お祝いの会をノエビアスタジアムでの分散開催や各区単位の開催なども含め検討し、密を避けて実施すること。
5. 児童生徒が感染、または濃厚接触者になった場合でも、公平な環境で受験できる体制を早急に検討し、児童生徒と保護者に周知すること。
6. 児童生徒にとって大切な卒業式、入学式の開催は、コロナ対策を徹底し、保護者へのリモートを利用した動画配信など検討すること。
7. COCOA（接触確認アプリ）の活用も含め、更なる市民への感染防止策を周知徹底すること。
8. 緊急事態宣言期間中においては、早期帰宅を促すため神戸市営地下鉄の終電・市バスの終発を繰り上げること。